



8月、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。8日に宮崎県沖で発生したM7.1の地震がきっかけとなり、さらに大きな地震や津波が発生する可能性が普段と比べて高まったことを呼びかける情報です。2019年に運用を始めて初の発表だったため、多くの人がどう行動すればよいか分からず混乱しました。私たちが暮らす東北



はやさアドバイザーの

学ぼう防災

19

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

北海道から岩手県までの太平洋側で起きた後発地震の例と巨大地震発生の可能性がある地域

1963年択捉島南東沖地震の1日前にマグニチュード7.0の地震が発生

2011年東日本大震災の2日前にマグニチュード7.3の地震が発生

巨大地震が起これると考えられている場所

情報が発表されたらチェックしよう!

家具の固定や非常食の確認、持ち出し袋の準備

避難場所や道順の確認、津波からすぐに避難できるように準備

- L字金具
- 備蓄食品の賞味期限
- 家具転倒防止板

危険な場所には近づかない

情報を入手する方法を確保

- インターネット
- ラジオ

「北海道・三陸沖後発地震注意情報防災対応ガイドライン」を基に作成
イラスト・多田健一郎

情報出たら準備え再確認を

巨大後発地震への注意

地方にも、巨大後発地震への注意を呼びかける「北海道・三陸沖後発地震注意情報」があります。日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード(M)7以上の地震が発生した場合、M9クラスの後発地震への備えを政府が呼びかける仕組みで、22年に導入されました。北海道から岩手県までの太平洋側は、東日本大

震災と同じ規模の大津波が300〜400年おきに繰り返し発生しています。巨大地震の多くは突然起きます。まれに先立って「ひとまわり小さな地震」が発生することがあります。東日本大震災の2日前は、震度5程度(M7.3)の地震が発生しました。イラスト。小さな地震の後に発生

する可能性がある「次の地震」への備えを促すのが北海道・三陸沖後発地震注意情報です。発生の可能性は100回に1回程度で、必ず次の地震が起きるとは限りません。地震や津波はいつ発生するかわかりません。日頃からできることを進めましょう。

この情報が発表されたら地震への備えを再確認してください。津波のおそれがある地域に住んでいる人は、特に最初の1週間はずぐに逃げられるように準備しましょう。来月5日の「津波防災の日」は、日本の呼びかけにより国連で決められた「世界津波の日」でもあります。世界中で津波から命を守るための被害を最小限に抑える取り組みが進められています。皆さんも津波ハザードマップを確認し、いざという時にどう行動するか家族で話し合いました。う。(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

今週の注目ニュース

◇11月1日(金) キティちゃん誕生50年
人気キャラクター「ハローキティ」は1974年に誕生しました。公式サイトによると、身長はリンゴ5個分、体重はリンゴ3個分。かわいらしさと多彩な商品展開で、世界中の人たちに愛されています。

きょうの紙面

- 2面 衆議院選挙って?
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート